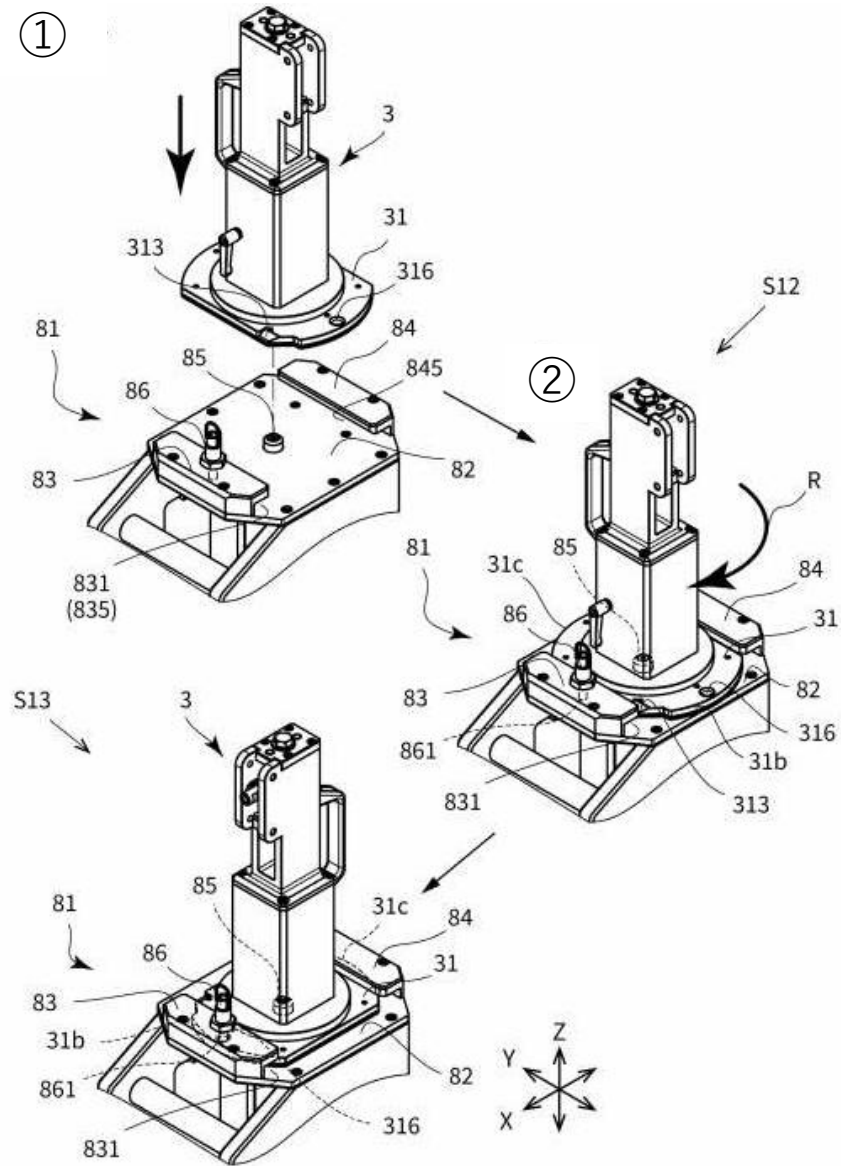


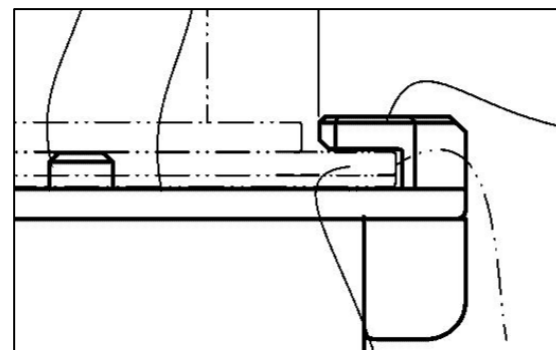
## ◆活用のポイント

装置の組み立てを可能にすることで、装置の可搬性を向上させています。



### 【装置組み立て手順】

- ・ 基台部を取り付け対象(高所作業車等)に取り付ける。
- ・ 基台部に設けられた係合部(85)と基部を下面に設けた係合穴(付図示)に嵌め込ませて基部と基台部を一体化させる (①)
- ・ 基部と基台部を一体化させた状態で、係合部を中心に一定方向に回転(図の場合は時計周り) させる(②)。
- ・ 座部(31、基部の一部) が基台部の前後に設けた規制部(83、84)と基台部上面との隙間に入り込み、回転ロック機構(86)を操作し、基部を基台部に対して固定する(③)。
- ・ 基部にアーム、リスト、ハンド、工具を取り付ける。



(座部)

※座部が規制部材と基台部の上面と隙間（嵌入スペース）に入りこむことで、基部の上下方向の動きが拘束される。